相談室便り

平成 26 年 12 月
八王子市立東浅川小学校スクールカウンセラー　橋口誠志郎

ごあいさつ

12 月に入り年末年始が近づいて参りましたが，皆様，いかがお過ごしでしょうか。今回は，保護者の方からよく相談を受ける「どんな声掛けをしたら良いのか」という話を書かせて頂きたいと思います。

どんな声掛けをすれば良いの？

実は，どんな声掛けをすれば良いのかは，「時と場合による」というのが実情だったりします。しかし，そうは言っても原則はあったりします。ただ，今回は原則以前の原則，つまりお子さんと雑談 (楽しくおしゃべりをすること) ができているかどうかという点を書いてみます。

どんな声掛け云々以前に，親子の関係が悪ければ，褒めることも叱ることも無効になってしまう面があります。なので，まずコミュニケーションのパターンをチェックしてみてください。コミュニケーションには 2 種類あると言われています，

1. タクト的コミュニケーション
2. マンド的コミュニケーション

1 つめはタクトです。タクトは出来事を報告するような行為で，「今日は雨だね」とか「今日はカレーだよ」のような，いわゆる雑談みたいなものです。もう 1 つはマンドです，マンドは「勉強しなさい」とか「ゲームやめなさい」のような命令・要求を含むコミュニケーションです。

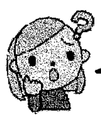
親子関係が悪化してくると親子の会話がマンドばかりになってしまい，タクトがほとんどなくなってしまうところがあります。タクトばかりだと，お子さんもコミュニケーションをとろうという気持ちがなくなってしまうみたいです。

いかがでしたでしょうか。保護者の方々のご家庭では，どのような割合でタクトとマンドのコミュニケーションがあるでしょうか。時々タクトとマンドの割合を意識してみてみると，親子関係の見直しに良いかもしれません。

「いや最近は雑談もなかなか上手くできません」という場合は，話の聴き手にまわると良いかもしれません。その場合，以下の 2 つを意識されると良いようです。

1. 話を最後まで聴くこと
2. 子どもが黙ってもせかさない

まず「話を最後まで聴くこと」ですが，お子さんが十分話さないうちに，しゃべり始めるのではなく，せめて 3 分間は黙ってお子さんの話しを聴くというのを意識されると良いようです。次に「子どもが黙っても，せかさない」ことも重要です。こどもが途中で黙ったときは考えをまとめようとしているのかもしれません。そんなときは 20 秒は待ってあげて，そのあと「それで？」と水を向けるか，子どもが最後に言ったことを繰り返します。例えば「○○ちゃんがあなたにいじわるをしたんだね」というように。



予約の方法は？

毎週，**木曜日**に来校します。副校長先生，コーディネーターの高野先生，小倉先生が窓口になっています。または担任の先生におっしゃって頂き，上記の先生方に取り次いで頂く方法もあります。ぜひご検討頂ければと思います。